

金剛寶戒寺便り

<http://www.houkaiji.jp>

平成三十年七月一日発行 第五十二号

檀信徒の皆さま、こんにちは。6月18日の早朝に大阪地方を中心に大きな地震がありました。皆様のご家族、ご親戚で被災された方は居ないでしょうか。被害に遭われた方、お亡くなりになった方々にお悔やみを申し上げます。

6月の講習会では「六波羅蜜行のススメ」と題して、特に「持戒」についてお話を致しました。

持戒と聞くと何か、いかめしく、堅苦しい様なイメージがあるかもしれませんが、本来の語源では「戒」と「律」とでは意味が違い、「戒」は自発的に守る生活の規則（習慣性）。「律」は日常生活を送る上で守らなくてはならない他律的な規則になります。今回は「十善戒」を取り上げて説明をしました。

「十善戒」とは①不殺生②不偷盗③不邪淫④不妄語⑤不綺語⑥不悪口⑦不両舌⑧不慳貪⑨不瞋恚⑩不邪見の十個の戒めになります。そもそも覺りを開かれたお釈迦様が、一人で生活を送るだけであれば戒律は必要が有りませんでした。しかし仏教を広め、教団が成立し、修行者や信者が増えていく上で守るべき規則が必要となりました。特にお釈迦様の入滅後はその規範となる人がいなくなり、戒律を明文化する必要にせまられました。

漢字からも予測がつかと思いますが、十善戒を現代的に解釈し簡単に記すと①不殺生には相手を殺す事だけでなく、傷つける事（虐待）や無駄な食品の廃棄なども含まれると思います。②不偷盗は漠然とモノを盗むだけでなく約束時間を破るなども含みます。③不邪淫は不倫をしないこと④不妄語は嘘をつかないこと⑤不綺語はおべんちゃら、軽口を言わないこと⑥不悪口は悪口を言わないこと⑦不両舌は二枚舌を使わないこと⑧不慳貪は貪らないこと⑨不瞋恚は怒らないこと⑩不邪見は自分勝手な見解を持ち、善悪業報や輪廻転生などを否定した考えを持たないこととなります。

いつけん、当たり前で簡単そうにも思えますが「衣食足りて礼節を知る」と言う言葉があるように人間の三大欲求に反する事柄も含まれるので厳格に守るのは厳しい規則だと思います。

また人間の活動を三種類に分けた時①②③は「身体」④⑤⑥⑦は「言葉」⑧⑨⑩は「心」での行いと分類できます。この「からだ」と「ことば」と「こころ」の行いを仏様と同じくする事により、真言宗では「即身成仏」が可能になると説いています。具体的には身体で「合掌」をして、言葉に「真言」を唱え、心を「三昧地」（澄み切った清らかな心にする）にすることになります。

身口意を守ることにより一瞬でも仏様に成

る時間が多くなることを目的としますが、逆に完璧に守ることが難しい事も覺り、自分も相手も弱い存在であると認識して、相手を許す心を育むことに繋げるのも一つの目標です。十善戒を常に守り続けるのが不可能であったとしても、その戒めを人生の羅針盤として、方向性を見失わずに持ち続けること、破った後には反省をして軌道修正をする事が大切だと思います。

戒には習慣性と言う意味と共に「氣立ての良し」といった意味合いもあるそうです。仏教徒の目標は成仏すること（覺りを開くこと）ですが、誰もがいつかは迎えるお葬式の時に「あの人は気持ちの良い人だった、氣立ての良し人だった」と周りの人から惜しまれる人間に成れば、一つの成仏が完成されているのではないかと思います。

8月の講習会は有りませんが本堂の大掃除と草取りがあります。時間のつく方はご協力をお願い致します。

8月4日（土曜日）朝6時より（約1時間）
本堂の大掃除並びに草取り

6月末にも関わらず蟬の鳴き声聞きました。大変蒸し暑く、昔には無かった豪雨も発生しています。何も悪い事をしていなくても自然災害の被害者になる方々もあり、季節が乱れても、せめて無差別な犯罪や事件などだけは起こらない様にと祈る初夏です。

合掌